

**AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series**  
**AXIS T6101 Mk II Audio and I/O Interface**  
**AXIS T6112 Mk II Audio and I/O Interface**

**ユーザーマニュアル**

# AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series

## 目次

---

|                |    |
|----------------|----|
| 設置             | 3  |
| 装置を構成する        | 4  |
| 装置について         | 4  |
| イベントのルールを設定する  | 4  |
| 音声             | 7  |
| 仕様             | 9  |
| 製品の概要          | 9  |
| ソリューションの概要     | 10 |
| LEDインジケータ      | 10 |
| コネクタ           | 11 |
| トラブルシューティング    | 13 |
| 技術的な問題、ヒント、解決策 | 13 |
| サポートに問い合わせる    | 13 |

# AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series

## 設置

---

### 設置



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

*[help.axis.com/?&piald=78844&section=install](http://help.axis.com/?&piald=78844&section=install)*

*AXIS T6101 Mk II Audio and I/O Interfaceの設置方法*



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

*[help.axis.com/?&piald=78844&section=install](http://help.axis.com/?&piald=78844&section=install)*

*AXIS T6112 Mk II Audio and I/O Interfaceの設置方法*

# AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series

## 装置を構成する

### 装置を構成する

#### 装置について

サポートされているAxisカメラに装置を接続すると、音声とI/Oの設定がカメラのWebページに表示されます。

##### 注

リンクローカルアドレス (設定不要) とIPv4ネットワークプロトコルがオンになっていることを確認します。なっていないと、音声とI/Oが機能しません。

本マニュアルで説明しているすべての設定はカメラのWebページから管理することができます。

#### イベントのルールを設定する

詳細については、ガイド「[イベントのルールの使用開始](#)」を参照してください。

##### アクションをトリガーする

1. [System > Events (システム > イベント)] に移動し、ルールを追加します。このルールでは、装置が特定のアクションを実行するタイミングを定義します。ルールは、スケジュールや繰り返しとして設定することも、手動でトリガーするように設定することもできます。
2. [Name (名前)] に入力します。
3. アクションをトリガーするために満たす必要がある [Condition (条件)] を選択します。ルールに複数の条件を指定した場合は、すべての条件が満たされたときにアクションがトリガーされます。
4. 条件が満たされたときに装置が実行する [Action (アクション)] を選択します。

##### 注

アクティブなルールを変更する場合は、ルールを再度オンにして変更内容を有効にする必要があります。

#### 進行中のイベントを視覚的に示します

AXIS I/O Indication LEDをネットワークカメラに接続するオプションがあります。このLEDは、カメラ内で特定のイベントが発生したときにオンになるように設定できます。たとえば、映像の録画が進行中であることを人に知らせる場合。

##### 必要なハードウェア

- AXIS I/O Indication LED
- Axisネットワークビデオカメラ

##### 注

AXIS I/O Indication LEDを接続する手順については、本製品に付属のインストールガイドを参照してください。

次の例では、AXIS I/O Indication LEDをオンにして、カメラが録画中であることを示すルールを設定する方法を示します。

1. [System > Accessories > I/O ports (システム > アクセサリー > I/O ポート)] に移動します。
2. AXIS I/O Indication LEDの接続先ポートについては、 をクリックして方向を [Output (出力)] に設定し、 をクリックして通常の状態を [Circuit open (開回路)] に設定します。

# AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series

## 装置を構成する

3. [System > Events (システム > イベント)] に移動します。
4. 新しいルールを作成します。
5. 録画を開始するためにカメラがトリガーする必要がある [Condition (条件)] を選択します。たとえば、タイムスケジュールや動体検知などを行うことができます。
6. アクションのリストで、[Record video (ビデオを録画する)] を選択します。ストレージスペースを選択します。ストリームプロファイルを選択するか、新しく作成します。必要に応じて、[Prebuffer (プリバッファ)] と [Postbuffer (ポストバッファ)] も設定します。
7. ルールを保存します。
8. 2番目のルールを作成し、最初のルールと同じ [Condition (条件)] を選択します。
9. アクションのリストから、[Toggle I/O while the rule is active (ルールがアクティブである間、I/Oを切り替える)] を選択し、AXIS I/O Indication LEDに接続されているポートを選択します。状態を [Active (アクティブ)] に設定します。
10. ルールを保存します。

その他にも、AXIS I/O Indication LEDを使用できるシナリオを以下に示します。

- カメラの存在を示すために、カメラの起動時にオンになるようにLEDを構成します。[System ready (システム準備完了)] を条件として選択します。
- 人物またはプログラムがカメラからのストリームにアクセスしていることを示すために、ライブストリームがアクティブなときにLEDがオンになるように構成します。[Live stream accessed (ライブストリームのアクセス)] を条件として選択します。

## 近くに人がいるときにゲートのロックを開ける

この例では、日中に誰かが入ろうとする際にカメラを向け、ゲートのロックを解除する方法について説明します。PIR検知器を本製品の入力ポートに接続し、スイッチリレーを本製品の出力ポートに接続することによって実行されます。

### 必要なハードウェア

- 取り付け済みPIR検知器
- スイッチリレーがゲートロックに接続されている場合、スイッチはノーマルクローズ (NC) になっています。
- ワイヤーの接続

### 物理接続

1. PIR検知器から入力ピンにワイヤーを接続する方法については、11ページI/Oコネクタを参照してください。
2. スイッチから出力ピンにワイヤーを接続する方法については、11ページI/Oコネクタを参照してください。

### I/Oポートの設定

カメラのwebインターフェースから、スイッチリレーをカメラに接続する必要があります。まず、I/Oポートを設定します。

#### 入力ポートにPIR検知器を設定

1. [System > Accessories > I/O ports (システム > アクセサリー > I/Oポート)] に移動します。
2.  をクリックして、ポート1の入力方向を設定します。

# AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series

## 装置を構成する

---

3. 入力モジュールに分かりやすい名前を付けます (「PIR detector」など)。
4. PIR検知器が動きを感知するたびにイベントをトリガーするようにしたい場合は、 をクリックして通常状態を開回路に設定します。

### 出力ポートにスイッチリレーを設定

1.  をクリックして、ポート2の出力方向を設定します。
2. 出力モジュールに分かりやすい名前を付けます (「Gate switch」など)。
3. イベントがトリガーされるたびにゲートを開くように設定するには、 をクリックして通常状態を開回路に設定します。

### ルールの作成

1. [System > Events (システム > イベント)] に移動し、ルールを追加します。
2. ルールの名前 (たとえば「Open gate」) を入力します。
3. 条件の一覧で、[PIR detector (PIR検知器)] を選択します。
4. アクションのリストから、[Toggle I/O once (I/Oを1回切り替え)] を選択します。
5. ポートのリストから [Gate switch (ゲートスイッチ)] を選択します。
6. 状態を [Active (アクティブ)] に設定します。
7. 期間を設定します。
8. [Save (保存)] をクリックします。

### 入力信号でいたずらを検知する

この例では、入力信号が切断された場合やショートした場合に電子メールを送信する方法について説明します。I/Oコネクタの詳細については、11ページを参照してください。

1. [System (システム) > Accessories (アクセサリ)] に移動し、該当するポートで [Supervised (状態監視)] をオンにします。

メール送信先を追加する:

1. [System > Events > Recipients (システム > イベント > 送信先)] に移動し、送信先を追加します。
2. 送信先の名前を入力します。
3. [Email (電子メール)] を選択します。
4. 電子メールの送信先のメールアドレスを入力します。
5. カメラには独自のメールサーバーがないため、電子メールを送信するには別のメールサーバーにログインする必要があります。メールプロバイダーに従って、残りの情報を入力します。
6. テストメールを送信するには、[Test (テスト)] をクリックします。
7. [Save (保存)] をクリックします。

ルールを作成する:

1. [System > Events > Rules (システム > イベント > ルール)] に移動し、ルールを追加します。

# AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series

## 装置を構成する

---

2. ルールの名前を入力します。
3. [I/O (入力/出力)] の条件のリストで、[Supervised input tampering is active (いたずら状態監視を有効化する)] を選択します。
4. 該当するポートを選択します。
5. [Notifications (通知)] のアクションのリストで、[Send notification to email (電子メールに通知を送る)] を選択し、リストから送信先を選択します。
6. 電子メールの件名とメッセージを入力します。
7. [Save (保存)] をクリックします。

## 音声

### 録画に音声を追加する

音声をオンにする:

1. [Video > Stream > Audio (ビデオ > ストリーム > 音声)] に移動し、音声を対象に含めます。
2. 装置に複数の入力ソースがある場合は、[Source (ソース)] で適切なソースを選択します。
3. [Audio > Device settings (音声 > 装置の設定)] に移動し、適切な入力ソースをオンにします。
4. 入力ソースを変更する場合は、[Apply changes (変更を適用する)] をクリックします。

録画に使用するストリームプロファイルを編集します:

5. [System (システム) > Stream profiles (ストリームプロファイル)] に移動し、ストリームプロファイルを選択します。
6. Include audio (音声を含める) を選択してオンにします。
7. [Save (保存)] をクリックします。

### 双方向音声通信を許可

#### 注

カメラのユーザーインターフェースで双方向音声通信を設定した場合は、ビデオ管理システムを使ってその機能を活用します。

この使用事例では、製品を通じて音声での通信を可能にする方法について説明します。

以下の手順に従って、製品にマイクとスピーカーを接続します。

1. 音声入力コネクタにマイクを接続します。
2. 音声出力コネクタにスピーカーを接続します。

以下の手順に従って、カメラのWebページで双方向音声を許可します。

1. [Video > Stream > Audio (ビデオ > ストリーム > 音声)] に移動し、音声を対象に含めます。
2. [Audio > Device settings (音声 > 装置の設定)] に移動し、音声許可されていることを確認します。
3. 適切な入力ソースをオンにします。
4. 入力ソースを変更する場合は、[Apply changes (変更を適用する)] をクリックします。
5. [System > Plain config (システム > プレイン設定)] に移動します。

# AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series

## 装置を構成する

---

6. [Select group (グループの選択)] を [Audio (音声)] に設定します。
7. [Duplex mode (通信モード)] が [Full duplex (全二重)] に設定されていることを確認します。

# AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series

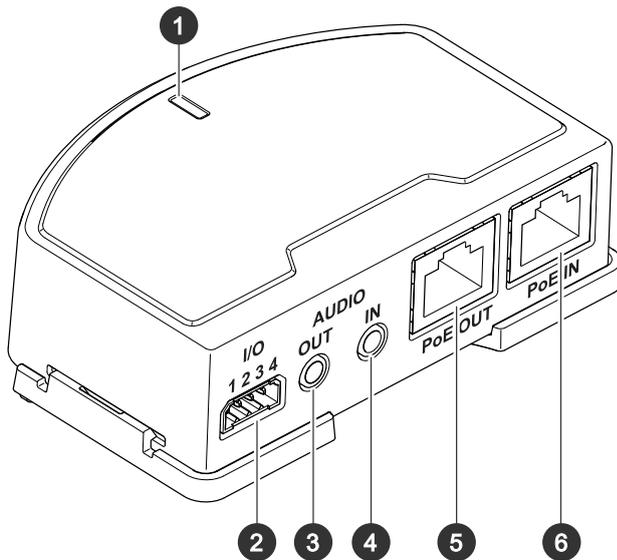
## 仕様

---

### 仕様

### 製品の概要

AXIS T6101およびAXIS T6112

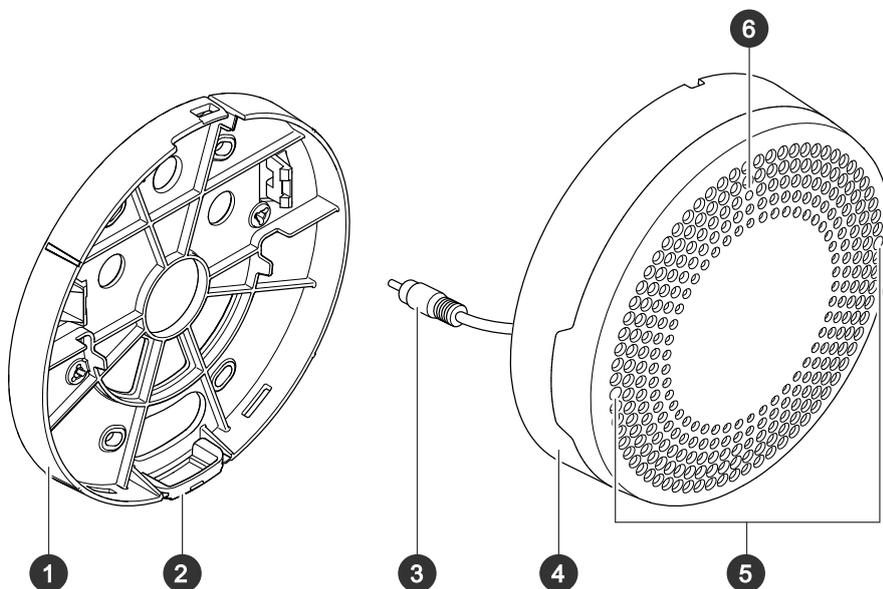


- 1 LEDインジケータ
- 2 I/Oコネクタ
- 3 音声出力
- 4 音声入力
- 5 ネットワークコネクタ (PoE出力)
- 6 ネットワークコネクタ (PoE入力)

# AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series

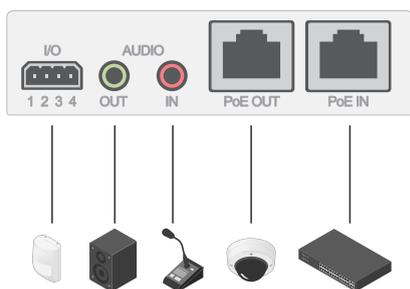
## 仕様

### AXIS T6112



- 1 ブラケットマウント
- 2 サイドリッド
- 3 マイクロフォンコネクタ
- 4 カバー
- 5 マイク
- 6 ステータスLED

## ソリューションの概要



## LEDインジケータ

| ステータスLED | 説明                                |
|----------|-----------------------------------|
| 緑        | 正常動作の場合、緑色に点灯します。                 |
| オレンジ     | 起動時に点灯します。ファームウェアのアップグレード時に点滅します。 |

# AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series

## 仕様

|         |   |
|---------|---|
| オレンジ/赤色 | ネットワーク接続が利用できないか、失われた場合は、オレンジ/赤色で点滅します。 |
| 赤       | ファームウェアのアップグレードに失敗すると、赤色で点滅します。         |

## コネクター

### ネットワークコネクター

入力: Power over Ethernet (PoE) 対応RJ45イーサネットコネクター

出力: Power over Ethernet (PoE) 対応RJ45イーサネットコネクター

### 音声コネクター

- **音声入力** - デジタルマイクロフォン、アナログモノラルマイクロフォンまたはラインインモノラル信号用 (左チャンネルはステレオ信号で使用) 3.5 mm入力。
- **音声出力** - 3.5 mm音声 (ラインレベル) 出力 (パブリックアドレス (PA) システムまたはアンプ内蔵アクティブスピーカーに接続可能)。音声出力には、ステレオコネクターを使用する必要があります。



### 音声入力

| 1 チップ                                  | 2 リング               | 3 スリーブ |
|--|---------------------|--------|
| アンバランス型マイクロフォン (エレクトレット電源あり、なし) またはライン | 選択されている場合、エレクトレット電源 | グラウンド  |
| デジタル信号                                 | 選択されている場合、リング電源     | グラウンド  |

### 音声出力

| 1 チップ                  | 2 リング                  | 3 スリーブ |
|------------------------|------------------------|--------|
| チャンネル1、アンバランス型ライン、モノラル | チャンネル1、アンバランス型ライン、モノラル | グラウンド  |

## I/Oコネクター

I/Oコネクターに外部装置を接続し、動体検知、イベントトリガー、アラーム通知などと組み合わせて使用することができます。I/Oコネクターは、0 V DC基準点と電力 (12 V DC出力) に加えて、以下のインターフェースを提供します。

**デジタル入力** - 開回路と閉回路の切り替えが可能な装置 (PIRセンサー、ドア/窓の接触、ガラス破損検知器など) を接続するための入力です。

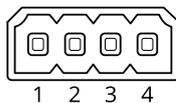
**状態監視** - デジタル入力のいたずらを検知する機能が有効になります。

**デジタル出力** - リレーやLEDなどの外部装置を接続します。接続された装置は、VAPIX®アプリケーションプログラミングインターフェースを通じたイベントまたは本装置のwebインターフェースから有効にすることができます。

4ピンターミナルブロック

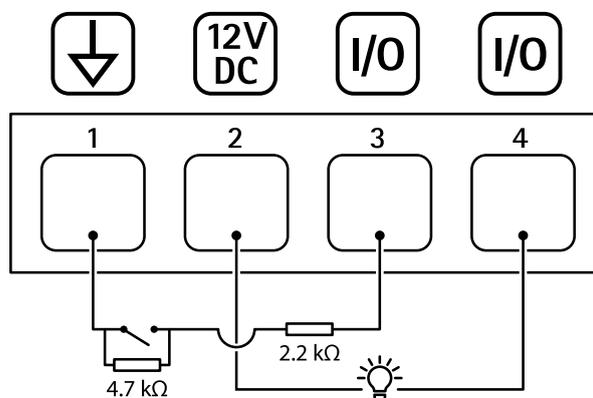
# AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series

## 仕様



| 機能             | ピン  | 備考  | 仕様                             |
|----------------|-----|---|--------------------------------|
| DCアース          | 1   |   | 0 V DC                         |
| DC出力           | 2   | 補助装置の電源供給に使用できます。<br>注: このピンは、電源出力としてのみ使用できます。  | 12 V DC<br>最大負荷 = 50 mA        |
| 設定可能 (入力または出力) | 3-4 | デジタル入力/状態監視 - 動作させるにはピン1に接続し、動作させない場合はフロート状態 (未接続) のままにします。状態監視を使用するには、終端抵抗器を設置します。抵抗器を接続する方法については、接続図を参照してください。      | 0~30 V DC (最大)                 |
|                |     | デジタル出力 - アクティブ時はピン1 (DCアース) に内部で接続し、非アクティブ時はフロート状態 (未接続) になります。リレーなどの誘導負荷とともに使用する場合は、過渡電圧から保護するために、負荷と並列にダイオードを接続します。 | 0~30 V DC (最大)、オープンドレイン、100 mA |

例:



- 1 DCアース
- 2 DC出力12 V、最大50 mA
- 3 I/O (状態監視として設定)
- 4 I/O (出力として設定)

# AXIS T61 Mk II Audio and I/O Interface Series

## トラブルシューティング

---

### トラブルシューティング

#### 技術的な問題、ヒント、解決策

ここで解決策が見つからない場合は、[axis.com/support](https://axis.com/support)のトラブルシューティングセクションに記載されている方法を試してみてください。

##### [Audio (音声)] タブとI/OアイコンがカメラのWebページに表示されない

---

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| Webページが更新されていません。                   | ブラウザのウィンドウを更新してください。それでも問題が解決しない場合は、ブラウザのキャッシュをクリアしてください。                                       |
| カメラのファームウェアバージョンが間違っています。           | カメラにファームウェアの最新バージョンがインストールされていることを確認してください。カメラのファームウェアバージョンを確認する方法については、カメラのユーザーマニュアルを参照してください。 |
| ネットワーク接続が利用できない状態です。                | 製品のLEDインジケータを確認し、10ページにあるLEDインジケータの表と比較してください。  |
| 入力と出力のネットワークケーブルが間違ったコネクタに接続されています。 | 入力と出力のネットワークケーブルを入れ替えてください。   |
| カメラに互換性がありません。                      | 装置の製品ページに移動し、カメラに互換性があるかどうかを確認します。  |

##### [Audio (音声)] タブは表示されているが、音声機能が機能していない

---

|  |   |
|--|---|
| カメラがAudio and I/O Interfaceから切断されています。 | カメラをAudio and I/O Interfaceに再接続し、カメラのWebページを更新してください。 |
|--|---|

##### カメラを別の音声ソースに接続した後、音声聞こえなくなる

---

|                          |                                    |
|--------------------------|------------------------------------|
| カメラに保存されている音声ソースは古いものです。 | [Source (ソース)] で新しい音声ソースを選択してください。 |
|--------------------------|------------------------------------|

##### 製品に接続してもカメラが起動しない

---

|                      |  |
|----------------------|--|
| ハードウェアの問題            | Axisサポートまでお問い合わせください。  |
| ミッドスパンが正しく接続されていません。 | すべてのネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。Audio and I/O Interfaceはミッドスパンを介してカメラに接続されている必要があります。詳細については、製品のインストールガイドを参照してください。 |

#### サポートに問い合わせる

[axis.com/support](https://axis.com/support)でサポートに問い合わせます。

